科目名	成人急性期看護学特別研究Ⅲ Research ProjectⅢ in Acute Care Adult Nursing	担当教員 (研究室番号)	長谷川　智之（302）	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	分野必修	単位数 (時間)	4(60)	授業形態	特別研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	一部

科目目的	収集したデータを分析・考察し、修士論文としてとりまとめ、論文発表会でその成果を発表し、質疑に対応できる。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	５．看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。
	関連するDP	１．多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。
到達目標	１．収集したデータを適切な方法で分析することができる。 ２．分析結果について丁寧かつ見やすい図や表により提示することができる。 ３．収集データや分析結果を客観的な視点から考察し、修士論文としてまとめることができる。 ４．論文発表会および修士論文審査・最終試験の準備をすることができる。 ５．論文発表会および審査最終試験での指摘事項について最終提出論文に反映することができる。	
成績評価方法(基準)	修士論文（80%）、論文発表会での発表(20%)	
教科書	特に指定しない。	
参考書等	必要時に提示する。	
受講者へのメッセージ		
備考	論文審査および最終試験に申請し、この合格を持って本科目の単位修得とする。	

学　習　内　容

【到達目標１について】
・収集したデータについて指導教員等の助言を受けながら研究目的に整合した適切な分析の仕方を学習する。

【到達目標２について】
・分析結果についてエクセルなどを用いて学術雑誌に掲載が可能なレベルの図や表の作成方法を学習する。

【到達目標３について】
・得られた結果を主観に捉えるだけでなく、多くの先行研究をもとに客観的な視点から捉える必要性とその言語的表現方法を学ぶ。
・論文作成要領に則り論文を執筆する。明解かつ論理的で「はじめに」から「結論」までの論旨が一貫した修士論文とするための思考の整理の仕方や表現方法を学び、繰り返しの論文推敲を行う必要性について知る。

【到達目標４について】
・発表会で報告するための資料（パワーポイント）の作成するときの注意事項について学ぶ。
・発表会等で想定される質問とその回答について準備をする。

【到達目標５について】
・論文発表会や審査および最終試験で指摘された内容のうち、修正が可能な内容を最終提出論文に反映する。

【各到達目標の共通事項】
・結果の分析や論文作成の過程では、指導教員等から指導や助言を受けながらより完成度の高いものにしていく。